令和２年度　指定管理者年度評価シート

１　公の施設の基本情報

施設名称	千葉市科学館
条例上の設置目的	千葉市科学館設置管理条例（平成18年千葉市条例第44号） 第1条　本市は、科学に関する知識の普及及び啓発並びに青少年の創造力のかん養を図り、市民文化の発展に寄与するため、千葉市科学館を設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	千葉市科学館は、千葉市科学都市戦略の基本理念「こどもから大人まで、すべての市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる、科学都市を創造する」に基づき、市民が科学・技術に触れ合い、ライフスタイルに科学が浸透する機会を提供する生涯学習施設としての役割を担っている。また、千葉市科学館のコンセプトは、「参加体験型の科学館」と、人から人へのコミュニケーションを大切にした「人が主役となる科学館」である。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	・幅広い年齢層の市民を対象に、科学に関する知識の普及及び啓発に寄与すること ・学校教育と連携して、青少年の創造力のかん養を図り、科学や技術に対する興味関心を高めること
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上を図るとともに、生涯学習施設として学校教育支援を充実させることや、さらに多くの市民に本施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。
成果指標※	① 入館者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度 ③ 市内小学校団体利用の割合
数値目標※	① 400,000人 ② 97% ③ 100%
所管課	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※　成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

２　指定管理者の基本情報

指定管理者名	コングレ・東急コミュニティー共同事業体
構成団体 （共同事業体の場合）	株式会社コングレ 株式会社東急コミュニティー
主たる事業所の所在地 （代表団体）	大阪市中央区淡路町三丁目6番13号
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

３　管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標　※1	R2年度実績	達成率
入館者数	511,700人（400,000人）	150,874人	29.5%
利用者アンケートにおける利用者満足度	98%（97%）	98.4%	100.3%
市内小学校団体利用の割合	100%	41.8%	41.8%

※1 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（２）その他利用状況を示す指標

指　標	R2年度実績
プラネタリウム稼働率（%）	43.3%

※プラネタリウム入場年間人数/（投影回数×席数）

※6/1～6/21は40席、11/1～1/7は150席
それ以外は100席で計算している

４　収支状況

（１）必須業務収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目	R2年度	【参考】R1年度	計画実績差異・要因分析	
			差異	主な要因

指定管理料	実績	420,536	405,900	実績－計画	21,436	コロナ対策の休館や、開館時間短縮に対する施設運営協力支援金の収入による
	計画	399,100	403,498	計画－提案	0	
	提案	399,100	407,200			
利用料金収入	実績	21,216	53,774	実績－計画	△ 57,900	有料入館者数の減（コロナ対策の休館や開館時間の短縮）
	計画	79,116	75,700	計画－提案	0	
	提案	79,116	75,718			
その他収入	実績	12,272	21,849	実績－計画	△ 24,728	ミュージアムショップ売上の減（コロナ対策の休館や開館時間の短縮）
	計画	37,000	35,882	計画－提案	0	
	提案	37,000	36,100			
合計	実績	454,024	481,523	実績－計画	△ 61,192	
	計画	515,216	515,080	計画－提案	0	
	提案	515,216	519,018			

イ　支出

（単位：千円）

費　目		R2年度	【参考】R1年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	276,000	271,245	実績－計画	7,012	職員数の増
	計画	268,988	262,098	計画－提案	0	
	提案	268,988	263,714			
事務費・管理費	実績	120,116	146,516	実績－計画	△ 30,702	報償費、印刷製本費、材料費、光熱水費等の減
	計画	150,818	165,138	計画－提案	0	（コロナ対策の休館・開館時間短縮に伴う）
	提案	150,818	166,654			
委託費	実績	46,873	41,473	実績－計画	△ 24,427	コロナ対策の休館・開館時間短縮に伴う活動の減少
	計画	71,300	70,008	計画－提案	0	
	提案	71,300	70,650			
管理に係る備品購入費	実績	3,498	17,293	実績－計画	△ 3,502	コロナ対策の休館・開館時間短縮に伴う活動の減少
	計画	7,000	17,836	計画－提案	0	
	提案	7,000	18,000			
間接費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	446,487	476,527	実績－計画	△ 51,619	
	計画	498,106	515,080	計画－提案	0	
	提案	498,106	519,018			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。
「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

（２）自主事業収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		R2年度	【参考】R1年度
自主事業収入	実績	1,108	2,048
その他収入	実績	0	0
合計	実績	1,108	2,048

イ　支出

（単位：千円）

費　目		R2年度	【参考】R1年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		
事業費	実績		
利用料金	実績		
その他事業費	実績	316	1,709

間接費	実績		
合計	実績	316	1,709

間接費の配賦基準・算定根拠

（３）収支状況

（単位：千円）

		R2年度	【参考】R1年度
必須業務	収入合計	454,024	481,523
	支出合計	446,487	476,527
	収　支	7,537	4,996
自主事業	収入合計	1,108	2,048
	支出合計	316	1,709
	収　支	792	339
総収入		455,132	483,571
総支出		446,803	478,236
収　支		8,329	5,335
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

５　管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
入館者数	E	市設定目標値の29.5%
利用者アンケートによる利用者満足度	C	市設定目標値の100.3%
市内小学校団体利用の割合	E	市設定目標値の41.8%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＢとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＣとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	ただし、施設運営協力等支援金【21,436千円】を除いた金額での評価である。（4・5月休館、6～3月時短分）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1　市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	・新型コロナウイルスの感染対策として、職員や来館者の検温、手指消毒等を徹底した。 ・その結果、館の関連者からひとりも感染者が出ず、感染状況が厳しい中でも安定して開館できた。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2　施設管理能力			

	（１）人的組織体制の充実	B	A	・提案書どおり、56名の職員を配置し、博物館学芸員有資格者も、5人を大幅に上回る30名を継続して配置した。 ・新型コロナについて免疫学の専門知識を有する講師を招き、職員向け研修会を実施した。 ・コロナ禍においても、リモートによるコンテンツの実施など、企業努力を絶やさなかった。
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	（２）施設の維持管理業務	B	C	・長期臨時休館時期に、施設・展示の掃除やメンテナンスを広範囲に行った。 ・新型コロナ対策として、展示室内の清掃・消毒を強化した。
	施設の保守管理			
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
３　施設の効用の発揮				
	（１）幅広い施設利用の確保	C	B	・新型コロナの影響で、56日間の臨時休館があった。 ・再開館後もプラネタリウムの投影間隔を空け、定員を削減し、換気を行いながら運営した。 科学フェスタは常設展示を、また市民の日は常設展示・プラネタリウムともに利用料金を減免した。
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	（２）利用者サービスの充実	B	B	・利用者から寄せられた意見とその対応について、館内に掲示して可視化したことで、アンケートの回収率が2倍以上増加した。 ・利用者満足度で98.4%の回答者が再来館の意思を示し、市が設定した目標を達成し
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	（３）施設における事業の実施	B	C	・秋の企画展では助成金を活用して、千葉の海に関する資料を多くの施設・団体から借用協力を受けて展示した。
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
４　その他				
	市内業者の育成	C	C	・障害者1名を年間を通じて継続雇用した。 ・臨時休館中も、法令に則って職員に休業手当を支給し、雇用の安定に務めた。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】
Ａ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（４）教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
メンバー会会員数設定目標が1万人なのに対し、4000人に満たない現状について、一歩踏み込んだ対策を講じてほしい。	令和元年度 令和２年度	リピーター対策事業としてメンバー会の特典紹介や限定試写会または会報誌などを行う。また、常時展示フリーパスなどを周知して確保していく。 展示品のリニューアルが令和3年度から令和4年度にかけて行われることも起爆剤にしたい。

６　利用者ニーズ・満足度等の把握

（１）指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	館内にアンケート用紙と回収箱を2ヶ所に設置。アンケートは後日郵送できるようにハガキ大に設定。
	回答者数	489票
	質問項目	フェイスシート項目：年代・会員、非会員・住まい 質問項目：来館回数・同伴者・科学館全体印象・施設印象・再来館の意思・自由記述

結果

ア　回答者の属性・年齢

1～12歳	13～19歳	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
20.3%	5.6%	20.9%	18.2%	18.2%	4.8%	2.3%	9.7%

・科学館会員比率

会員	非会員
10.1%	89.9%

イ　来館回数

はじめて	2～3回	4回以上
34.1%	21.9%	43.9%

ウ　科学館全体印象

とても良い	まあ良い	ふつう	あまり良くない	悪い
77.1%	18.7%	3.7%	0.2%	0.2%

エ　施設印象

とても良い	まあ良い	ふつう	あまり良くない	悪い
73.4%	21.5%	4.4%	0.4%	0.2%

オ　再来館の意思

ぜひ来てみたい	機会あれば来てみたい	どちらとも言えない	来たくない
84.2%	14.2%	1.5%	0.2%

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
プラネタリウムが満席で入れなかった。オンラインで予約できるか、残席状況が確認できるようにしてほしい。	オンライン予約はメンバー会員特典で以前から可能。それ以外の一般利用者の方がプラネタリウムの残席状況がわかるよう、プラネタリウム専用Twitterアカウントを開設し、館ホームページからも残席有無が確認できるよう対応した。
お土産に千葉市科学館のオリジナル商品を買いたい。	展示と連動した「箱入り娘」を以前から販売。新たに館オリジナルデザインのトートバッグや、館内で実施した工作キットをカプセルに入れたガチャ商品を発売した。

7　総括

（1）指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	年度を通して新型コロナウィルス対策が最優先の運営となった。 展示室の入場制限や主催事業・プラネタリウムの定員削減をはじめ様々な施策を取った。具体的な施策内容については、市との協議を頻繁に行い、感染状況に応じて制限を強化したり緩和したりを繰り返した。 近隣の大規模イベントが軒並み中止になるなか、10周年を迎えた「千葉市科学フェスタ2020」を感染対策を取りながら開催した。 来館者が大幅に減少する中で、アウトリーチ活動とオンライン配信に注力した。市内小学校への出前事業を大幅に増加し、来館できない児童にも科学に触れる機会を提供した。また通常館内で開催している講座をオンライン用にアレンジし、自宅で館の講座を体験してもらえた。

（2）市による評価

総括評価	C	所見	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の収束が見えない状況が続く中で、政府からの相次ぐ緊急事態宣言の発出により、実施計画の大幅な見直しを迫られた。 令和2年3月3日から5月まで臨時休館 令和2年6月1日にプラネタリウム投影のみ時短で再開 令和2年6月15日に常設展示を再開 令和2年7月1日に主催事業及びボランティア活動を再開 令和3年3月22日から通常開館（時短営業） その中で、開館時間の短縮、プラネタリウムの人数制限や一部展示の休止、イベントの見送りなどの対策を講じて来館者の受け入れを行うとともに、コロナ禍における新たな取組として、オンラインを活用した各種コンテンツを継続的に配信することができた。また、学校支援業務として、学校に出向いて実施するプログラム「おもしろ教室」の引き合いは多く、市内小学校延べ61校（講座数144回）3654人が参加した。プラネタリウムの投影においても、人数制限・時短をしながら1047回、48973人が利用した。 科学フェスタ2020も規模を縮小し、予約制にすることで感染症対策を十分にした形で開催することができた。 コロナ禍ではあるが、利用者から寄せられた意見とその対応について、館内に掲示して可視化したことで、アンケートの回収率が2倍以上増加した。 また、利用者満足度で98.3%の回答者が再来館の意思を示し、市が設定した目標を達成することができた。 例年「総括評価」は、全市的な評価の基準「評価の目安」に基づき実施しているが、例年どおり令和2年度評価を行うと、「入館者数」などの評価指標が数値目標を大幅に下回ることから、「D」以下の低評価となってしまう。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本市からの指示による休館・施設一部の利用停止などによる管理運営の基準に示す必須業務の一部未実施や、入館者数等の大幅な減少は、指定管理者の管理運営に係る経営努力の及ばない要因によるものとして取り扱う必要がある。 コロナ禍における評価指標の減少理由を明確に区分することは困難であることから、指定管理者としては、感染防止対策を徹底しつつ、経営努力により可能な限り運営できたと認められるので、総合評価を「C」とした。

【評価の内容】
Ａ：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
Ｄ：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（3）教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

市による評価は、おおむね妥当であると認める。
また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握する観点から、提出された財務諸表から判断した結果、財務に関する事項で特記するものはないと認める。
その他、次の事項を本委員会の意見とする。
ア　公民館・生涯学習センターや学校との連携及び市内の演奏家等の人材の活用を積極的に検討していただきたい。
イ　会員数が増えない原因について検討し、会員となるメリットの需要や特典などの観点から会員が増加するように努めていただきたい。